資料5-1

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	H31年 4月26日	
記入者	団体等名	手をつなぐ育成会
	記入者名	酒巻 幸代
	部署名	障がい福祉課
	記入者名	薄田 千枝子

1｜協働事業の概要

協働事業名	第2回屋内スポーツ大会	
事業の実施者	団体等	手をつなぐ育成会
	行 政	障がい福祉課
事業の目的	障がい者スポーツの推進及び交流の促進 障がいを持つ人も持たない人もともに参加し、ルールや道具を工夫して一緒にスポーツを楽しむ。	
事業の内容	実行委員会を立ち上げ、「屋内スポーツ大会」の企画及び運営に関する協議、関係機関との連絡調整を行い、「屋内スポーツ大会」を実施。大会は全6種目の競技を自由に体験する第1部(午前)と、なまりんフレンドリーカップと称した卓球バレー大会を開催する第2部(午後)の2部構成で実施	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	実行委員会 4回開催 屋内スポーツ大会 平成30年12月9日に実施 参加者200人	
協働事業決算	総額 49,974 円(一般会計 29,974円 協賛金 20,000円)	
	簡単な内訳	大会当日役員・ボランティア弁当代 35,000円 大会消耗品(カラーペーパー、賞状用紙、ラインテープ、景品等) 14,974円
実施期間	H30年 8月27日 から H30年12月 9日 まで	
協働の形態	☑共催 □委託 □補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年　２月　５日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 障がいのある方だけでなく、障がいのない一般市民の多くの方に参加していただき、障がい者の理解を深めたい。 【行政】 同上		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 詳細な改善策については来年度の実行委員会で検討していく。 【行政】 同上		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	令和元年　6月　12日	
記入者	団体等名	NPO 法人病児保育をつくる会
	記入者名	古村　陽子
	部署名	子育て支援課
	記入者名	今関　夕貴

1｜協働事業の概要

協働事業名	緊急サポート事業	
事業の実施者	団体等	NPO 法人病児保育をつくる会
	行　政	子育て支援課
事業の目的	緊急性を伴う預かりを行うことにより、保護者の仕事と育児の両立を支援する。	
事業の内容	小学生まで児童を対象に病気、急な出張、保育施設での急な呼び出しがあった場合の送迎など、緊急性を伴う預かりを会員同士の相互の助け合いで行う。	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	31 件（病児 11 件、預かり 10 件、送迎 10 件）	
協働事業決算	総額　907,200　円	
	簡単な内訳	委託料（内訳）　人件費　597,745 円 広報費　59,300 円 講習会費用　63,690 円 保険費用　22,452 円 通信費　41,373 円 一般管理費　110,531 円 その他　12,109 円
実施期間	平成30年　4月　1日　から　平成31年　3月　31日　まで	
協働の形態	□共催　☑委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、１枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年４月１０日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 サポート会員に係る講習会の実施時期や事業内容について共有を図った。 【行政】 同上。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 サポート会員に係る講習会の実施時期が年度末であったことから、新年度については参加しやすい時期に実施し、また実施が決定した場合、早急に市へ報告をするよう改善策を図り共有した。 【行政】 同上。		

吉川市協働事業評価シート 2017.ver1.1

提出日	令和元年　6月　12日	
記入者	団体等名	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク
	記入者名	中島　眞由美
	部署名	子育て支援課
	記入者名	石井　賢聖

1｜協働事業の概要

協働事業名	ホームスタート事業	
事業の実施者	団体等	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク
	行　政	子育て支援課
事業の目的	育児に不安を抱えている保護者に対象に家庭訪問を通じて育児相談を行い、保護者の孤立を防ぐ。	
事業の内容	未就学児を抱える引きこもりがちな親に対して、一定のノウハウを身につけた地域ボランティアが自宅へ出向き、何気ない会話のなかで孤立感を防止し、児童虐待を防止することはもとより、家族のエンパワーメントを図ることで子どもの利益を実現する。	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	訪問活動　:23件 訪問回数:197回 ビジター数:32名	
協働事業決算	総額　1,353,000　円	
	簡単な内訳	人件費:　856,320 円 研修費:　249,000 円 通信費:　84,000 円 消耗品:　35,000 円 交通費:　50,000 円 その他:　78,680 円
実施期間	平成 30 年 4 月 1 日　から　平成 31 年 3 月 31 日　まで	
協働の形態	□共催　☑委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、１枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年４月２３日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 今日、利用者のニーズは非常に多様化している。様々なニーズに対応できるよう、研修を通して傾聴などのスキルアップが必要であると共有した。 【行政】 同上		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 新たに活動できるビジターが増加したため、健診をはじめ様々な機会で広く周知を行い、利用拡大に繋げていくことを共有した。 【行政】 同上		

吉川市協働事業評価シート 2017.ver1.1

提出日	令和元年　6月　12日	
記入者	団体等名	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク
	記入者名	中島　眞由美
	部署名	子育て支援課
	記入者名	石井　賢聖

1｜協働事業の概要

協働事業名	子育て支援センター運営事業	
事業の実施者	団体等	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク
	行　政	子育て支援課
事業の目的	児童福祉法に定められた子育て支援事業の一つ。地域における子育てを支援するため、子育て中の親子の交流の場の提供、子育て相談、地域の子育て関連情報の提供など、子育て支援センターの運営を行う。 （美南子育て支援センター及び中央子育て支援センター）	
事業の内容	（1）子育てサロン等子育て支援事業の展開 （2）出前講座の開催 （3）吉川市子ども・子育て応援サイト「よしよしねっと」の管理運営	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	利用者数（延べ） 美南子育て支援センター：　11,229 人 中央子育て支援センター：　6,756 人	
協働事業決算	総額　13,116,000　円	
	簡単な内訳	委託料　（内訳） 人件費　　12,285,450 円 消耗品　　80,000 円 負担金等　　65,200 円 研修費　　15,000 円 講師謝金　　60,000 円 賠償保険等　　45,130 円 その他　　565,220 円
実施期間	平成 30 年 4 月 1 日　から　平成 31 年 3 月 31 日　まで	
協働の形態	□共催　☑委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年４月２３日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 情報の共有化を図るため、直営を含めた3か所の支援センターが参集し、拠点会議を開催している。その際、事業の進捗状況や各拠点で抱えている問題点を出し合い、共通認識を図っている。 【行政】 同上		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 利用者同士のトラブルに関する対応方法や保護者支援について情報共有し、改善策をとることで、より一層安心して、利用しやすい施設になるよう努めている。 【行政】 同上		

吉川市協働事業評価シート 2017.ver1.1

提出日	令和元年　6月　12日	
記入者	団体等名	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク
	記入者名	中島　眞由美
	部署名	子育て支援課
	記入者名	石井　賢聖

1｜協働事業の概要

協働事業名	児童健全育成事業（よしかわ☆キッズタウン）	
事業の実施者	団体等	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク
	行　政	子育て支援課
事業の目的	よしかわ・キッズタウン ・NPO 法人よしかわ子育てネットワークが実施主体。市・教育委員会が共催している。 ・子ども主体で「子どものまち」をつくることにより、まちの仕組みを知る。また、自ら発想し制作することで、人間力を培うことを目的としている。	
事業の内容	小学生以下の子供を対象に行う、自治体験及び職業体験（模擬ハローワークで求人情報を見て仕事を選び、各職場ブースに出向き就労体験。就労した時間で給料が支給され、そのお金で買い物ができる。）	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	参加者数　993 人 サポーター（大人）　138 人 サポーター（子ども）　61 人	
協働事業決算	総額　0　円	
	簡単な内訳	よしかわ子育てネットワークの主体事業であるため、市費の負担はない。しかし、2日間に渡り子育て支援課の全職員を派遣するなど、運営面での協力をしている。
実施期間	平成 31 年 3 月 16 日　から　平成 31 年 3 月 17 日　まで	
協働の形態	☑共催　□委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、１枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年４月２３日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 当日の役割分担や受付方法また配置等について話し合い、情報を共有している。 【行政】 同上		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 事業終了後に各スタッフのアンケート調査を実施し、各ブースからあがってきた問題点を共有した。また、ごみの収集方法についても課題を共有し、改善している。 【行政】 同上		

吉川市協働事業評価シート 2017.ver1.1

提出日	令和　元年　6月　12日	
記入者	団体等名	青少年相談員協議会
	記入者名	水野　和希
	部署名	子育て支援課
	記入者名	鈴木　詩乃

1｜協働事業の概要

協働事業名	青少年相談員活動推進事業	
事業の実施者	団体等	青少年相談協議会
	行　政	子育て支援課
事業の目的	スマートフォンの未成年所持率の急増、ソーシャルメディアの普及などによって、青少年を取り巻く状況は刻々と変化している。情報化社会は便利さや他者と気軽に繋がれる環境を作る一方で、青少年の主体的な思考や活動を阻害される側面を持ち、かつてに比べて主体的に考え行動する「生きる力」の低下が懸念される部分もあるため、本協議会では野外活動での体験を通じ、青少年の主体性の尊重・醸成を目指すこと目的としている。	
事業の内容	毎月公園や公民館等にみんなで集まり、レクリエーションや料理等をする。また、年に1回キャンプを行う。子どもたちが試行錯誤を重ね最後までやり抜く力を培い、頑張った後の達成感を感じるとともに、仲間と協力することの大切さを学ぶ。	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	年に1回のサマーキャンプは今年で18回目の実施となる。 【平成30年度サマーキャンプ参加人数】 相談員：4名 参加者：18名 計：22名	
協働事業決算	総額　146，000円	
	簡単な内訳	市補助金額：146，000円
実施期間	平成30年4月1日　から　平成31年3月31日　まで	
協働の形態	□共催　□委託　■補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年４月１２日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 サマーキャンプの参加者が少ないため、広く周知するための方法等についての課題を共有した。 【行政】 サマーキャンプの参加者が少ないため、広く周知するための方法等についての課題を共有した。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 サマーキャンプの参加者が増えるようちらしの配布をする、ポスターの掲示をする等の改善策を共有した。 【行政】 サマーキャンプの参加者が増えるようちらしの配布をする、ポスターの掲示をする等の改善策を共有した。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	平成31年4月26日	
記入者	団体等名	吉川市連合長寿会
	記入者名	青山
	部署名	健康長寿部長寿支援課
	記入者名	大瀧

1｜協働事業の概要

協働事業名	老人福祉センター運営事業	
事業の実施者	団体等	吉川市連合長寿会
	行　政	健康長寿部長寿支援課
事業の目的	高齢者の互助組織である吉川市連合長寿会を指定管理者として主体的に管理運営を行うことで、高齢者の希望に合わせた教養講座、レクリエーション等の展開につなげ、高齢者の健康づくりと生きがいづくりをはかる。	
事業の内容	・老人福祉センターの施設管理運営 ・各種講座の開催	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	平成30年度利用者数（右欄前年度）	
	個人	6，500人　7，066人
	団体	26，393人　26，390人
	その他	5，671人　5，671人
協働事業決算	総額　28，266，680円	
	簡単な内訳	施設修繕料　1，090，800円 火災保険料　13，448円 施設管理委託料　26，784，000円 警備委託料　378，432円
実施期間	平成30年4月1日　から　31年3月31日　まで	
協働の形態	□共催　■委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年　３月２８日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 毎月の指定管理者会議において、情報共有等を行っている。 【行政】 同上		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 毎月の指定管理者会議において情報共有を図り、必要に応じて改善を行っている。 【行政】 同上		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	平成31年4月26日	
記入者	団体等名	NPO法人たすけあい・よしかわ
	記入者名	代表理事　野田　妙子
	部署名	長寿支援課
	記入者名	大瀧　和寛

1｜協働事業の概要

協働事業名	生涯現役の養成事業～世代を越えた交流による、元気シニア創生とまちづくり～	
事業の実施者	団体等	NPO法人たすけあい・よしかわ
	行　政	健康長寿部長寿支援課
事業の目的	本事業は、これまで地域社会と関わる機会が少なく地域デビューに結びついていない男性シニアや、これから退職時期を迎え地域デビューを希望する男性シニアなどに向けた講座の開催や地域活動等への参加支援を実施することで、地域デビューへの不安を取り除くとともに地域活動等への参加促進を図ることを目的とする。	
事業の内容	男性シニアの地域活動などへの参加を後押しするため、NPO法人たすけあい・よしかわに委託し、シニア元気塾（テーマ別講座）の開催及びシニア元気塾たまり場（活動の支援・コーディネート・情報提供）の運営を行う。本年度は、事業の実施を通じて参加者の自立した地域活動拠点の創出と地域活動への参加を目標に実施する。	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	1　シニア元気塾の開催 【第3期】 平成30年5月～8月（全5回） （内容） 講座（退職後の健康を考える、落語、地域福祉の担い手から学ぶなど）と ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸを開催 参加者数：延べ147人（男性83人／56%：女性64人／44%） 【第4期】 平成30年10月～31年2月 （内容） 講座（定年後のお金について考える、音楽を楽しむ、今も続く伝統芸能など）と ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸを開催 参加者数：延べ121人（男性52人／43%：女性69人／57%） 2　シニア元気塾たまり場の開催 （内容） 毎週1回、平沼地区高齢者ふれあい広場において、参加者の自主的活動（英語教室、笑いヨガなど）の支援、シニアへの情報提供と相互交流の場づくりを行う。	
協働事業決算	総額　3，000，000円	
	簡単な内訳	委託料
実施期間	平成30年5月1日　から　31年3月31日　まで	
協働の形態	□共催　☑委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年４月２１日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 多くの市民に参加してもらうためには企画の信用性、公共性の担保のために行政の支援はとても重要だった。しかし、集まった市民が自ら活動していくためには、細かなサポートが必要で、それには地域に根差した市民団体の力が有効であり、そうしたお互いの強みと役割を認識しつつ活動できたことは大きな収穫であり、成果つながると確信できた。 【行政】 参加者の年齢層が本事業の対象として考えていた年齢層に比較して高い結果となった。 また、聴講形式の講座のみでは、参加者の自主活動への誘導（意識変容）につながりにくい。目的やテーマを明確にした内容では、自主活動への誘導がうまく図れた。以上のような課題について情報共有を図れた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 前年度でお互いの役割と強みを確認できたので、それを活かして、地域住民が主体的に地域のことに取り組むことの良さを実感できる活動をめざす。具体的にはテーマ別のGWを主体とした講座を軸に（平沼公民館でのたまり場という場が確保されているので）日常的なボランティア活動への展開を試みたい。 【行政】 平成31年度からは、目的やテーマを明確にしたグループワークを主体とした講座の開催に改める。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	平成31年　2月　1日	
記入者	団体等名	吉川市民まつり運営委員会
	記入者名	鈴木　邦夫
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	髙橋　美樹

1｜協働事業の概要

協働事業名	吉川市民まつり助成事業	
事業の実施者	団体等	吉川市民まつり運営委員会
	行　政	市民参加推進課
事業の目的	吉川市民まつり運営委員会に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、市の物産品や市内企業の PR 及び活性化を目指し、より一層ふるさとづくりを推進することを目的とする。	
事業の内容	市民が互いに交流を深め、コミュニティづくりの推進を図るとともに、市民文化の向上や農業・商工業等の振興に寄与するため、吉川市民まつり運営委員会を設置し、市民が主体となった企画・運営で市民まつりを開催する。	
事業の実績	開催までに、市民を委員とした企画会議及び運営委員会を計６回行い、企画等の意見を交わした。まつり当日は市内外から多くのお客様が来場し、大いに賑った。来場者アンケートでは「また来たい」との回答を９６％いただき、多くの来場者から「毎年楽しみにしている」との声もいただくことができた。	
協働事業決算	支出総額　3,831,290 円	
	簡単な内訳	印刷費(299,720 円)、会場費(3,127,103 円)、備品購入費(85,140 円) 消耗品費(23,811 円)、イベント事業費(102,216 円)、交流事業費(180,000 円) 事務費(13,300 円)
実施期間	平成30年　5月　30日　から　平成31年　1月　30日　まで	
協働の形態	□共催　□委託　☑補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年　２月　１日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 新庁舎前での初の市民まつりである事から、昨年永田公園を会場とした市民交流部門以外の部門を新庁舎前に戻した為の対応として、会場レイアウトや搬出入を含めた出展ルールについて及び昨年度来場者・出展者等の意見を取り入れた喫煙所の設置について行政と充分に協議した。 【行政】 昨年度の市民まつりを開催した際に来場者や出展者などからいただいた意見をもとに喫煙所の設置場所や搬出入ルールについて話し合った。 また、新庁舎建設後初めての市民まつりであったため、会場レイアウトや出展ルール等について企画会議及び運営委員会で団体側とお互いの視点から綿密に意見交換を行うことができた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 開催時間・会場周辺の駐停車による混雑・図書館開館による駐車場確保・事故防止の為の食品及び火器の取扱い等、アンケートや今年度運営委員からの改善案や意見を次年度の運営委員会で綿密な打ち合わせを行って改善していく旨を共有した。 【行政】 来場者・出展者アンケートや運営委員から受けたご意見等（開催時間や駐車場の確保、会場周辺の車両の駐停車による混雑など）について団体側へ報告し、現委員から改善案やご意見をいただいたので、来年度の運営委員会にて具体的な改善策を検討していく旨を共有した。		

吉川市協働事業評価シート 2017.ver1.1

提出日	令和元年 5 月 27 日	
記入者	団体等名	吉川市国際友好協会
	記入者名	立澤 秀子、樋口 啓一
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	片桐 駿介

1｜協働事業の概要

協働事業名	吉川市青少年親善訪問団派遣事業	
事業の実施者	団体等	吉川市国際友好協会
	行 政	市民参加推進課
事業の目的	21世紀の国際社会には、一人ひとりが国際的な視野に立ち、世界の多くの人々との交流や協力を通じて世界の平和と繁栄を進めることが求められています。このため、姉妹都市との継続的な交流を行う中で、感性の豊かな時期である青少年に異文化を体験する機会を提供し、国際的な視野を高めることを目的とする。	
事業の内容	市内在住小学 6 年生から高校 3 年生を対象に姉妹都市の米国オレゴン州レイクオスエゴ市にホームステイし現地中学校での授業体験やホームステイを通じて異文化を体験する。 ■ 派遣人数 参加者17名、引率3名 ■ 派遣期間 平成31年3月29日～4月5日(6泊8日)	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	・ 書類・面接による参加者選考実施 ・ レイクオスエゴ市訪問に必要な英会話研修、日本文化紹介の打ち合わせ等の説明会を計 6 回実施 ・ 現地にて官公署訪問、学校訪問、授業体験等実施 ・ 報告書の作成及び報告会の実施	
協働事業決算	総額	2，037，740 円
	簡単な内訳	【委託料】 平成 30 年度支払い(引率者渡航費及び参加者渡航費の一部等)：1,697,310 円 平成 31 年度支払い(現地費用等)： 340,430 円 ※参加者負担金：230,000 円×17 名＝3,910,000 円
実施期間	平成30年 12 月 16 日 から 平成31年 4 月 27 日 まで	
協働の形態	□共催 ☑委託 □補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：令和元年　5月２６日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 参加者17人の内訳が小6から高2(3月出発時)と年齢差が大きく、事前研修の理解度にばらつきがあった。また現地での一部参加者同士のスマートホンの使用過多により、期待されたホストファミリーとの家族的交流が疎かになる面も見られた。 【行政】 積極的に発言できるようになるなど参加者の帰国後の大きな成長が見られたが、一方でスマートホンを持参する生徒が増え、現地での使用マナーに課題を残した。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 事前研修の内容見直しも含め、ホームステイの意義、現地での行動基準の再徹底を図るとともに、現地でのスマートホンの使用制限等についても検討したい。 【行政】 スマートホンの使用マナーやホストファミリー、学校での過ごし方のマナーなどを事前研修会の内容に追加し、訪問団としての意識付けの強化を検討したい。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	平成31年4月23日	
記入者	団体等名	吉川市国際友好協会
	記入者名	学習部会長　関口　政則
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	片桐　駿介

1｜協働事業の概要

協働事業名	日本語教室	
事業の実施者	団体等	吉川市国際友好協会
	行　政	市民参加推進課
事業の目的	日本語が話せない外国出身の方に、日本語をはじめ、日本の生活文化などを教えるとともに、参加者同士のコミュニケーションの場を提供し、多文化共生、異文化交流の推進を図る。	
事業の内容	主催：吉川市国際友好協会(スタッフ管理、教材・備品購入など) 共催：吉川市(施設予約、資料印刷、日本語教室ボランティアスタッフ養成講座の開催など) ボランティアスタッフが、日本語で日本語を教えるというスタイルで実施。 また、日本文化の理解を深めるとともに、学習者同士やスタッフとの親睦を深めるため、交流事業を企画・実施。	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	・日本語教室　毎週火曜日　午前の部(10時～12時)、夜間の部(19時～21時) 年間48回実施 ・参加者延べ人数 午前の部　学習者284人、スタッフ349人 夜間の部　学習者290人、スタッフ331人 合計　学習者574人、スタッフ680人 ・交流事業　クリスマス会（12月18日午前の部、夜間の部で実施）	
協働事業決算	総額　67,905　円	
	簡単な内訳	支出　67,905円 茶菓代、教材・備品購入等 ※市から吉川市国際友好協会への補助金55万円 うち日本語教室への補助率10/10、67,905円補助
実施期間	平成30年4月1日　から　平成31年3月31日　まで	
協働の形態	☑共催　□委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年４月２３日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 午前の部は学習者に対してスタッフが多く、担当するスタッフが余ってしまう。 夜間の部は学習者に対してスタッフが不足する場合があり、スタッフ確保が課題。 【行政】 午前の部は学習者に対してスタッフが多く、担当する機会が少ない為、特に新しいスタッフの経験値が上がらない。夜間の部はスタッフが不足傾向でスタッフ確保が課題。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 学習者に対してスタッフが多い場合は、ベテランスタッフと新人スタッフとの組み合わせを検討する。 また、日本語教室ボランティアスタッフ養成講座の受講者などをきっかけに新しくスタッフになった人に、日本語教室に早く慣れてもらい、スタッフとして定着させる。 【行政】 入管法が改正され、外国籍住民のより一層の増加が見込まれる。外国籍住民にとって、日本語教室の定期開催は大きな支えとなるものと思われる。市主催の日本語教室ボランティアスタッフ養成講座の開催など、スタッフ確保の機会を作り、支援を継続する。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	平成30年8月1日	
記入者	団体等名	To Going Concern for Women
	記入者名	代表理事　吉川真由
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	相川美佐子

1 協働事業の概要

協働事業名	Dream for women & children	
事業の実施者	団体等	To Going Concern for Women
	行　政	市民参加推進課
事業の目的	子育て支援・女性の社会進出への貢献	
事業の内容	女性起業家のさまざまな出店の体験などを通じ、来場者との出会いやふれあいなどによって、普段頑張っているママや女性だけでなく子供達も１つの空間で癒され笑顔になれるフェスタの開催	
事業の実績	■開催日時　平成３０年７月６日（金）及び７日（土） 両日とも午前１０時～午後３時 ■来場者　６日…約２５０人、７日…約６００人 ■内容　美容メニュー（メイク、ネイル、耳つぼジュエリー等）、写真撮影ブース、物販、飲食販売、起業相談、託児スペース、子育て相談など	
協働事業決算	総額　176,000円	
	簡単な内訳	収入　176,000円 ・出店者協賛金及び出店料 支出　80,625円 ※差額　95,375円は次回フェスタ会場費等に充当　参考:会場費５～10万 ・通信費(郵送費) ・備品購入費 ・出演者謝礼 ・チラシ作成等雑費
実施期間	平成30年7月6日(金)及び7月7日(土)	
協働の形態	□共催　□委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３０年７月３１日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 事業周知について、今回、幼稚園へのチラシ配布が一部できなかったが、夏のイベントとして定着していたようで、昨年と同時期に開催したことは集客につながり良かった。また１日楽しめるイベントであると認識してもらえ、昨年度の来場者が今年は知り合いを連れて来場してくれた。土曜開催ではパパなど、平日とは異なる客層・年齢層に来場いただけた。出店者にとっては、市外での開催に比べ、吉川会場では必ず知り合いがお客様として来場してくれる安心感がある。 【行政】 前回に引き続き２名体制で受付を担当。多くのお客様が、数店舗で体験やお買いものをされ、帰りにシールラリーの景品を受け取られていた。比較的長い時間滞在するお客様が多く、ゆっくりと楽しんでいっていただけたのだと感じた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 小さい子ども向けの出店をもう少し増やしたい。 資金的な面で苦しいが、無料ブース（出店者の商品や体験料をGCWで買い上げて、お客様に無償提供する）を増やしたい。また、出演者の謝金も、将来的にはもう少し支払いしたい。 英語教室の子ども達にとって、発表の場が出来て良かった。子どもを呼ぶには土日開催が必須である。学校等へのチラシ配布やポスター掲示をお願いできるとありがたいのだが。 【行政】 引き続き女性の就労や起業を支援していきたい。12月には女性と地域企業のマッチングを目指し、地域企業等の出展による「女性おしごとフェア」の開催を企画している。多くの女性にお集まりいただくため、女性の多く所属する市民団等へのアプローチなどを考える。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	平成31年 2月 15日	
記入者	団体等名	ワークショップ楽えん、二胡サークルゆえん
	記入者名	代表 成田 寿子
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	片桐 駿介

1 | 協働事業の概要

協働事業名	二胡交流演奏会	
事業の実施者	団体等	ワークショップ楽えん、二胡サークルゆえん
	行 政	市民参加推進課
事業の目的	台湾と音楽でつながる国際文化交流イベントを開催し、二胡と日本・台湾の音楽、文化の体験を通して、交流を深める。	
事業の内容	・二胡の演奏をメインに様々な楽器奏者や歌で音楽を通じて交流を深める交流演奏会 ・日本、台湾の文化体験(太極拳、茶道、和菓子体験、書道、絵本朗読、かるた等) ・吉川(なまず料理)、台湾の料理提供	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	【参加者数】 入場者 113 人、出演者 58 人、出店者・ボランティア 19 人、ゲスト 2 人 合計 192 人	
協働事業決算	総額 79,232 円	
	簡単な内訳	【収入】79,232円 協賛金 78,500円 寄附金 732円 【支出】79,232円 広告費 4,415円 会場装飾 11,111円 プログラム 5,706円 謝礼・食費 55,000円 備品レンタル3,000円 【収支】 0円
実施期間	平成31年1月13日	
協働の形態	■共催 □委託 □補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成 31 年 2 月 15 日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 当初予定の席数を大幅に増やし、たくさんの方にご来場頂いた。二胡の演奏だけでなくワークショップ楽えんで繋がっている方々の協力を得られたことが良かったと思う。また、新しいご縁も繋がり、初めてイベントに参加した団体、出店者もあった。これをきっかけに活動の場が広がっていけたらと思う。 【行政】 入場券が即日完売となるなど関心が高く、盛況だった。また開催を通して主催団体と他団体、外国籍市民の方との交流が進んだように感じる。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 音楽でつながる交流がさらに広がっていくように、次回は中国、台湾等アジアの音楽交流に興味・関心のある方々に吉川市に来て頂き、日本や吉川市を知って頂き、交流ができるようにしてみたい。 【行政】 主催団体と外国籍市民の方が交流を深めた結果、音楽を通した新しい国際交流の案が浮上した。公益性が高い事業である場合は協力が可能であろう。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	平成 31 年 2 月 15 日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島﨑　允行
	部署名	環境課
	記入者名	大滝　利和

1｜協働事業の概要

協働事業名	環境展 2018	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行　政	環境課
事業の目的	環境団体や企業の環境活動をパネル等で展示するとともに、体験講座を通して環境の大切さを多くの市民へ伝える。	
事業の内容	①環境団体、企業の環境活動、県や市のパネル展示。 ②栄小学校の校外授業の実施。 ③緑のカーテンの普及、啓発 PR。 ④クール・チョイス及び段ボールコンポストの紹介。 ⑤環境体験講座の実施。 ⑥エコグッズ等の販売及びスタンプラリーで花の苗等プレゼント。	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	平成 30 年 6 月 8 日から 6 月 10 日 来場者数　　370 名（3 日間合計）	
協働事業決算	総額　　46,300　円	
	簡単な内訳	・ポスター・チラシ作成・印刷　　2,000 円 ・展示物作成　　3,200 円 ・体験講座の材料代　　17,100 円 ・プレゼント用品代　　8,000 円 ・スタッフ代（延べ 112 名）　　16,000 円
実施期間	平成 30 年 6 月 7 日（準備）　から平成 30 年 6 月 10 日　まで	
協働の形態	■共催　　□委託　　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1 枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成 30 年 6 月 18 日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 各所との情報伝達は円滑に進み、無事に終了することができた。児童の参加は多いものの大人の参加が少なかったのは反省。 【行政】 前年度に比べ団体との連携が密に取れ、開催までの工程がスムーズにできた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 ポスター、チラシの作成を早め周知期間を長くしたい。そのためには、作業開始時期を早める必要あり。 【行政】 引き続き、団体との連携を深め、事業を実施していきたい。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	令和元年　6月　12日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島﨑　允行
	部署名	環境課
	記入者名	浅見　祥子

1｜協働事業の概要

協働事業名	環境学習出前講座事業	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行　政	環境課　環境保全係
事業の目的	自然環境の保護、資源の有効活用等々により、安心、安全、快適な暮らしの維持が出来る事を体験等を通して学ぶ。	
事業の内容	1　講座メニューの作成及び関係部署への広報 2　講座の申し込み受付 3　講座の実施に際し、関係部署との調整‘（日時・場所・人数の確認、資材の分担調整） 4　講座の実施 5　講座実施後のフォロー	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	実績：57講座 小学校環境学習教室：27講座 自治会及び児童館依頼：5講座 その他市民向け体験講座：25講座 参加者：栄小、旭小、三輪野江小、関小、吉川小児童及びPTA、ほか市民多数	
協働事業決算	総額　126，700円（内委託事業費；82，420　円）	
	簡単な内訳	1　教材代　65，200円 2　資料代　5，500円 3　講師料（含むスタッフ）　56，000円（70工数）
実施期間	平成30年　4月　21日　から　平成30年　7月12日（一部は2月末）　まで	
協働の形態	□共催　■委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1 枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	△	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年　３月　１日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 1　継続事業の為、過去の経緯を踏まえて進行する事が多く、意思疎通が若干悪し 2　委託事業分として小学校等へ30講座、市民啓発主体に独自で25講座の計55講座実施、意義大 【行政】 委託事業について行政と団体の役割について話し合いを行った。 メニュー表の作成、配布を4月上旬に行った結果、昨年度より小学校からの申込が多く、実施講座を増やすことができた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 1　学校へのアプローチを早くし、日程に余裕を待たせる事で、学校及び講師共々に講座内容の充実。 2　学校に対して責任の所在を明確にする為に、両者（行政も）が立ち合いでの実施が望ましい。 3　自治会の夏休みに開催の「寺子屋」での実施。及びジュニア会員の拡大を図る。 【行政】 責任所在については、行政職員が小学校の座学講座に立ち合うことを両者間で決定した。 講師の高齢化に伴い、野外講座等に補佐が必要。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	令和元年　6月　12日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎　允行
	部署名	環境課
	記入者名	浅見　祥子

1｜協働事業の概要

協働事業名	環境フェステバル2019	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行　政	環境課環境保全係
事業の目的	小学生及び市民の環境学習成果発表・活動報告に関する後援を通じて、市民へ環境保全の大切を発信する。	
事業の内容	1　環境団体、企業の環境活動、小学校、吉川美南高校の環境活動の展示。 2　栄小学校の環境活動成果の発表。 3　旭　小学校の環境活動成果の発表(ビデオにて)。 4　前江東区立八名川小学校長の手島利夫氏の講演 {環境を考える人は、世界を考える人} 5　SDGs紹介 6　中原市長の開会挨拶、染谷教育長の講評	
事業の実績(実施回数、参加者数など)	参加人数:140名 小学校20名、吉川美南高校4名、講師、市長、教育長、越谷環境管理事務所長、小松川工専工業会長、環境部会長代理、市民76名、企業13名、環境ネットワーク16名、環境課5名	
協働事業決算	総額　88,600　円	
	簡単な内訳	1　発表校(含むパネル展示)支援　6,200円 2　発表記念・参加記念　19,000円 3　講師謝礼(含む交通費)　37、336円 4　事務費用(ポスター・チラシ印刷含む)　17,464円 5　SDGs発表　8,600円
実施期間	H30　年　10　月　(準備)　から　H31　年　2　月　9　日　まで	
協働の形態	■共催　■委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年　２月１５日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 当日の大雪予想で、実施の可否、緊急連絡体制の相談するも、当日は大した事にならず、各所との情報伝達は円滑に進み、無事に終了する事が出来たものの、天候の影響もあり参加が例年より少なかったのは反省。 【行政】 当日は大雪が予報されたが、参加校・講師との連絡体制を整え不測の事態に備えたことで当日は円滑に実施可否を判断・連絡でき、結果滞りなく無事事業を開催できた。 今年は子ども達だけでなく、教員や保護者等大人の方にも多く来場いただけた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 ポスター、チラシの作成を早め周知期間を長くしたい。その為には、作業開始時期を早める必要あり。 【行政】 例年参加者・参加校の減少が課題。早期の講師の選定、小学校への参加依頼が課題である。 また、今年好評であった映像発表等学校の参加方法について幅広く検討していく。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	令和元年6月12日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎　允行
	部署名	環境課
	記入者名	浅見　祥子

1｜協働事業の概要

協働事業名	緑化推進事業	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行　政	環境課環境保全係
事業の目的	ゴーヤのカーテンの設置を希望する公共施設に対して、ゴーヤの苗を配布し施設管理者調整の上、設置作業を実施する。	
事業の内容	1　苗の準備（含む育苗） 2　環境課に希望申請した公共施設に、苗を配布（5～6月）。 3　施設管理者からの希望により、苗植作業の実施。 4　施設管理者に、水やり等の管理の指導及び情報提供。 5　施設管理者の希望により、ネットの取り外し作業の実施（10月頃）。 6　環境課は公共施設との連絡窓口 7　問題発生時は双方で競技の上対処する。	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	旭地区センター、市民交流センターおあしす、老人福祉センター、少年センター、東部市民サービスセンターで実施	
協働事業決算	総額　57，020　円（内委託費　41，980　円）	
	簡単な内訳	1　種代　13，020円 2　堆肥等育苗　40，000円 3　ネット張り用の縄　4，000円 4　スタッフ人件費は実績には計上せず（委託費には含む） （担当3名、延べ50工数）
実施期間	H30 年　5月　1日　から　H30 年　7月　31日（一部 10 月末）　まで	
協働の形態	□共催　■委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３０年１０月３１日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 1　3月に種を購入及び育苗を開始、年度初の確認通りに、前広に対応出来た。 2　早期に確認打合せが出来た事で、円滑に進んだ。 【行政】 早期に公共施設等と日程調整・連絡ができ、滞りなく当初計画どおり事業を実施できた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 1　作業開始前に、業務内容の確認と役割分担等の確認が重要。 2　市役所での実施がなくなったのは寂しい、今後は市民啓発及び企業へ注力。 【行政】 日程調整だけでなく作業人員、作業内容について団体と確認が必要。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	令和元年　6月　12日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島﨑　允行
	部署名	市民生活部環境課
	記入者名	髙橋　良幸

1｜協働事業の概要

協働事業名	マイバッグ推進事業（後期分）	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行　政	環境課
事業の目的	市内のスーパーマーケット等において、マイバッグについての意識調査、利用状況調査を行い、併せてマイバッグの利用促進のPR活動を行。同時に雑紙分別の実施状況についてもアンケート調査を実施した。	
事業の内容	1. 環境課が指定する店舗において、意識調査と啓発物の配布 2. 各店舗の調査時に、調査員を各5人以上確保 3. 聞き取り調査は、各店舗で100人以上を目標に実施 4. EMリサイクル石けん等の啓発グッズの準備 5. 集計結果の報告	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	マイバッグ推進ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ（聞き取り調査） ・前期　3店舗で合計396人 ・後期　2店舗で合計238人　（台風のため1店舗中止）	
協働事業決算	総額　58，300円（内委託事業費45，120円）	
	簡単な内訳	1. 啓発グッズ　28，700円 2. スタッフ　（37工数）　29，600円
実施期間	平成30年　6月　1日　から　平成30年10月　2日　まで	
協働の形態	□共催　■委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年　３月１４日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 1．マイバッグの持参率は約7割と高いが、時々3割がおり常用は4割が実態。 2．マイバッグ持参調査と合わせて雑カミの分別の実施有無を実施。雑カミの分別は実施多数が判明 3．3日間・3店舗の予定なるも、台風の影響で残念ながら初めて実施予定が出来ずに残念。 【行政】 1．ポスター掲示や啓発品の配布などと違い、1対1のアンケート形式で活動を行ったことで、対象者数は少なくとも確実にマイバッグの普及活動を行えた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 1．ノーレジ袋運動が圏の政策検討開始に期待、次年度以降で併せた運動にする必要あり。 2．雑カミの分別は、更なる周知が必要。 【行政】 1．1対1のアンケート形式を行うための人員確保が大変ではあるが、直接マイバックの利用を伝えることができるため、次年度も継続して行いたい。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	令和元年 6月 12日	
記入者	団体等名	NPOアニマルボランティア援助良
	記入者名	馬巻 多佳子
	部署名	市民生活部環境課
	記入者名	浅見 祥子

1｜協働事業の概要

協働事業名	地域猫活動補助金	
事業の実施者	団体等	NPOアニマルボランティア援助良
	行 政	市民生活部環境課
事業の目的	野良猫の減少、野良猫による迷惑行為の減少を図り、地域の生活環境を改善すること。	
事業の内容	野良猫を捕獲し、不妊・去勢手術を実施することで、野良猫の増加を抑制する。 ①飼い主のいない猫を捕獲する。②捕獲した猫を動物病院で不妊去勢手術する。③繁殖制限措置を施した猫については、元の場所に戻して管理する。④定期的に排泄物の処理を行う。⑤決まった時間・場所で餌をやり、食べ残しは速やかに片づけるとともに周辺の清掃を行う。	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	野良猫のそう手術頭数：約120匹 小松川御嶽神社では20匹の野良猫を捕獲し手術を実施。 下内川地域では地域猫活動を実施するにあたり自治会長に協力を依頼した。	
協働事業決算	総額 898,281（市補助金 400,000）円	
	簡単な内訳	不妊去勢手術費：508,990 円 飼料費：389,291 円
実施期間	H30 年 7月 1日 から H31 年 2月 28日 まで	
協働の形態	□共催 □委託 ■補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1 枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年　３月１５日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 昨年度より早期に補助金申請の交付を受けられたので大変助かっている。 【行政】 小松川や下内川地域をはじめ、野良猫の多い地域を中心に捕獲や避妊・去勢を進め地域猫とすることができた。事業は順調に実施できている。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 特になし。 【行政】 来年度より開始するどうぶつ基金のさくらねこチケットの交付と並行して引き続き事業を実施していく。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	平成31年3月1日	
記入者	団体等名	吉川ほたるの会
	記入者名	会長　森田　保
	部署名	産業振興部　農政課
	記入者名	新實　真生

1｜協働事業の概要

協働事業名	市民農園ほたる鑑賞会	
事業の実施者	団体等	吉川ほたるの会、吉川市市民農園管理組合
	行　政	吉川市産業振興部農政課
事業の目的	地域の活性化を目指し、吉川市市民農園において市民向けのほたる鑑賞会を開催する。	
事業の内容	「ほたるふれあいコーナー」「ほたる展示コーナー」「屋外鑑賞ゾーン」を設け、ほたるを間近で鑑賞できるようにした。 さらに、ミニマルシェとして地元飲食店による飲食料品の販売と、地元農家の野菜販売を行った。	
事業の実績	開催日数：2日間 来場者数：1日目　430名、2日目　564名	
協働事業決算	総額87，479円（市支出4，432円＋ほたるの会支出83，047円）	
	簡単な内訳	・会場設営用備品購入代金　4，432円 ・スタッフ弁当・飲み物代等　83，047円
実施期間	平成30年7月3日　から　平成30年7月4日　まで	
協働の形態	■共催　□委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３０年　７月２６日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 屋外鑑賞ゾーンや、駐車場などの安全管理。 来場者用駐車場の確保や、よりよい鑑賞会場のレイアウトの検討が必要。 【行政】 来場者用駐車場の確保や、よりよい鑑賞会場のレイアウトの検討が必要。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 鑑賞会場のレイアウトの検討を行う。 【行政】 消防団やほたるの会会員と連携して参加者の安全確保に努める。 来年度はほたるドームも完成するので、多くの集客を見込める。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	平成 31 年 4 月 23 日	
記入者	団体等名	吉川市国際友好協会
	記入者名	会長 立澤 秀子
	部署名	学校教育課
	記入者名	森谷 浩幸

1 | 協働事業の概要

協働事業名	外国人児童生徒への日本語学習支援	
事業の実施者	団体等	吉川市国際友好協会
	行 政	学校教育課
事業の目的	市内小・中学校に就学する外国籍児童・生徒のうち、日本語の理解力が不足しているために、円滑な学校生活を送ることが困難な児童・生徒に対して個別に日本語学習支援を行うことで、円滑な学校生活を送るとともに、学力の向上を図る。	
事業の内容	・諸外国から入国(転入)し、市内小・中学校へ就学した児童・生徒のうち、日本語の理解力が不足していると認められる場合に、学校長からの申請に基づき、市教育委員会(学校教育課)が日本語学習支援業務の委託先である吉川市国際友好協会へ支援活動を依頼する。 ・吉川市国際友好協会は、支援対象児童・生徒、学校等と調整の上、支援活動担当者、活動日等を決定し、市教育委員会及び学校へ通知し、活動を開始する。	
事業の実績(実施回数、参加者数など)	対象児童・生徒 延べ19人	
協働事業決算	総額 457,000 円	
	簡単な内訳	活動単位 一時限 小学校45分、中学校50分 一時限あたりの委託料 1,000円
実施期間	平成31年4月9日 から 平成31年3月26日 まで	
協働の形態	□共催 ☑委託 □補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1 枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年　４月２３日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 支援授業時間毎の活動報告書を支援者毎に作成し、課題を相互に確認することが出来た。 児童生徒により個人差があり、コミュニケーション能力の向上を目指した。 【行政】 活動報告書により団体と学校間での情報の共有は図られている。より一層の綿密な連携が望ましい。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 本事業の意図を支援スタッフにも理解してもらい、児童生徒の能力向上をより高める。 【行政】 教職員に対しても本事業の意図を理解してもらう。 国際友好協会、学校、市教育委員会間で必要に応じた連携を図れるようにする。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	平成31年 4月23日	
記入者	団体等名	関小アドバンスクラブ
	記入者名	吉澤 力
	部署名	吉川市教育委員会生涯学習課
	記入者名	石橋 ゆみ

1 協働事業の概要

協働事業名	子どもの体験活動事業	
事業の実施者	団体等	関小アドバンスクラブ
	行 政	教育委員会生涯学習課
事業の目的	家庭・地域・学校が一体となって子どもの生きる力を育むため、各小学校区で実行委員会を設置し様々な体験事業等を企画し、子どもたちに奉仕活動や体験活動などを推進する。	
事業の内容	工作教室や将棋教室、飯ごう炊さん、書道、フラワーアレジメントなどの体験活動を実施する実行委員会へ交付金を交付する。	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	（平成30年度実績） ○吉川小学校区 7事業 265名 ○北谷小学校区 3事業 203名 ○旭小学校区 2事業 69名 ○栄小学校区 4事業 330名 ○三輪野江小学校区 3事業 500名 ○中曽根小学校区15事業 137名 ○関小学校区 16事業 2,170名 ○美南小学校区 26事業 1159名	
協働事業決算	総額 383,600円	
	簡単な内訳	交付金383,600円
実施期間	平成30年 4月 1日 から 平成31年 3月31日 まで	
協働の形態	☑共催 □委託 □補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1 枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	—
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	—

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年４月２３日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 ・活動拠点である、学校の先生方の協力は不可欠であること。 ・講師の先生方の協力なくして成り立たない事業である。（地域の方々の協力） 【行政】 活動を継続するにあたって、人材の確保が難しい学校区があることを話合い、事業に負担をかけずに行える手法を話し合った。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 ・離任される担当の先生方が、引継ぎ等をスムーズに行うことが重要 ・年度が替わるときには、新しい体制において打ち合わせ等を実施する 【行政】 生涯学習ﾒﾆｭｰﾌﾞｯｸの活用やイベントの共同開催などにより負担を軽減する手法を共有した。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	平成31年 4月24日	
記入者	団体等名	指定管理者OITグループ
	記入者名	加門 保
	部署名	吉川市教育委員会生涯学習課
	記入者名	程田浩司

1｜協働事業の概要

協働事業名	市民交流センターおあしす指定管理者事業	
事業の実施者	団体等	指定管理者OITグループ
	行 政	教育委員会生涯学習課
事業の目的	市民交流センターおあしす、市立図書館、視聴覚ライブラリー、中央公民館図書室、旭地区センター図書室の管理運営に関し、指定管理者による適切な業務が遂行されるよう管理監督を行う。	
事業の内容	市民交流センターおあしすや市立図書館をはじめとする各図書室の運営と管理を行うとともに、おあしす運営協議会や図書館協議会を開催する。また、利用者に対する満足度調査を行う。	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	（平成29年度実績） おあしす利用実績　利用件数:8，883件、利用人数:135，093名 市立図書館利用実績　貸出冊数:343，332冊、利用人数:79，810名、 入館者数:217,262名	
協働事業決算	総額 214，957，660円	
	簡単な内訳	報酬　92，400円（図書館協議会委員報酬） 報償　30，000円（おあしす運営協議会委員等報償） 需用費　2，423，138円（天井張替修繕等） 役務費　73，122円（火災保険料） 委託料　214，519，000円（施設管理業務委託料）
実施期間	平成30年 4月 1日 から 平成31年 3月31日 まで	
協働の形態	□共催　☑委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年　４月２４日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 施設の老朽化により、雨漏りはだいぶ改善したが空調や舞台設備などの設備に心配があること、また、新庁舎開庁に伴う駐車場の管理について話し合った。 【行政】 開館から20年が経過する施設・設備の老朽化による修繕や交換が多くなっていることもあり、今後の対応について話し合った。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 市と指定管理者との改善分担により、施設運営に支障をきたさないような対応をするとともに、駐車場の管理について調整をしていくことを話し合った。 【行政】 修繕などは費用面での課題はあるが、施設運営に支障をきたさないよう対応していくことを話し合った。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	年　　月　　日	
記入者	団体等名	子育て広場プーさん
	記入者名	島田　曜子
	部署名	生涯学習課　中央公民館
	記入者名	森田　武

1｜協働事業の概要

協働事業名	幼児家庭教育学級（赤ちゃんサロン）「ゼロママ集まれ！」	
事業の実施者	団体等	子育て広場プーさん
	行　政	吉川市中央公民館
事業の目的	子育て中の母親が抱える子育ての不安・悩みやストレス等を解消する一助となるよう、「子育て広場プーさん」と協働で開催し、年齢の近い子どもを持つ母親が集まる場を提供するだけでなく、専門の講師等から有用な知識や技術を得ることができる事業を展開する。	
事業の内容	わらべ歌・絵本の読み聞かせ、ピラティス、救急救命講習、ベビーマッサージなど	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	実施回数　全10回 参加者数　132組264人	
協働事業決算	総額　24，000円	
	簡単な内訳	会場使用料は免除 印刷代は市が負担 講師謝金24,000円は市が負担
実施期間	平成30年　4月25日　から　平成31年　3月27日　まで	
協働の形態	☑共催　□委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年　３月２７日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 講座の内容により、参加人数に違いがある。 【行政】 講座内容を決定する際に、開催場所や時間などを話し合いながら設定している。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 講座内容の見直し。 【行政】 事前に準備しておくものや確認すべきことを早めに行い、連絡を取りながら連携する。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	年　　月　　日	
記入者	団体等名	よしかわ子育てネットワーク
	記入者名	中島　眞由美
	部署名	生涯学習課　中央公民館
	記入者名	森田　武

1｜協働事業の概要

協働事業名	幼児家庭教育学級（子育てサロン）「みんなで話・和・輪！」	
事業の実施者	団体等	よしかわ子育てネットワーク、子育て広場プーさん、更生保護女性会
	行　政	吉川市中央公民館
事業の目的	核家族化が進む中、周辺近所との人間関係が希薄になってきている現代で、子育てしている母親は、潜在的に子育ての悩み・不安・ストレスを抱えており、それらを解消する機会を提供するとともに、同世代の子どもを育てる母親同士の交流ができる場を提供し、よしかわ子育てネットワーク、子育て広場プーさん、更生保護女性会と協働で開催するものです。	
事業の内容	わらべ歌・絵本の読み聞かせ、体操、季節の遊び、グループトークなど	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	実施回数　全10回 参加者数　135組309人	
協働事業決算	総額　　0円	
	簡単な内訳	会場使用料は免除 印刷代は市が負担
実施期間	平成30年　4月19日　から　平成31年　2月21日　まで	
協働の形態	☑共催　□委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1 枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年　２月２１日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 8 月を除く毎月第 3 木曜日に開催しているが、参加者の少ない月がある。 【行政】 講座内容などの見直しが必要である。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 講座内容の改善など 【行政】 ポスター掲示、チラシ配布などによる周知の徹底。		

吉川市協働事業評価シート_2017.ver1.1

提出日	年　　月　　日	
記入者	団体等名	えほんのひろば
	記入者名	久田　初恵
	部署名	生涯学習課　中央公民館
	記入者名	森田　武

1｜協働事業の概要

協働事業名	えほんのひろば	
事業の実施者	団体等	えほんのひろば
	行　政	吉川市中央公民館
事業の目的	絵本の素晴らしさに触れ、親しみを感じ、子どもたちが豊かな心を育むことを目的に、えほんのひろばのボランティアスタッフと共に開催するものです。	
事業の内容	お楽しみ会や、七夕、クリスマスのイベントなどを実施。ボランティアスタッフによる絵本の読み聞かせや遊び、ゲームなどを行う。	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	実施回数　全5回 参加者数　218人	
協働事業決算	総額　5，000円	
	簡単な内訳	会場使用料免除 印刷代は市が負担
実施期間	平成30年　4月22日　から　平成31年　2月　2日　まで	
協働の形態	☑共催　　□委託　　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1 枚のシートを作成してください。（○×式）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：平成３１年　２月　２日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 七夕まつり、クリスマス会、お楽しみ会にしてから、参加者が徐々に増えて良かった。 【行政】 毎週土曜日の読み聞かせからイベント形式に変更して 2 年経ったが、えほんのひろばのイベントを楽しみにしてくれる人が増えてきた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 えほんのひろばのイベントを楽しみにしてくれている子どもたちのために、楽しいイベントにしていきたい。 【行政】 広報よしかわ、ポスター掲示、チラシ配布などによる周知を今後も継続し、事業を多くの方に認知してもらえるよう活動していく。		